



# Press Release

令和元年11月20日公表

発表事項	<p style="text-align: center;"><b>平成30年住宅・土地統計調査 住宅及び世帯に関する基本集計について（本県分）</b></p> <p style="text-align: center;"><b>（平成30年10月1日調査）</b></p>
概要	<p><b>◆総住宅数は546,400戸で、平成25年調査から2.3%の増加◆</b> <b>◆空き家率は15.4%で過去最高◆</b></p> <p>本県の総住宅数は年々増加しており、平成25年と比べ12,500戸（2.3%）増加の546,400戸となった。</p> <p>また、総世帯数は、平成25年と比べ2,600世帯（0.6%）増加の463,500世帯となった。</p> <p>一方、空き家数は平成25年と比べ10,000戸（13.5%）増加の84,200戸となり、空き家率（総住宅数に占める空き家の割合）は15.4%（全国平均13.6%）で、平成25年から1.5ポイント増加し、過去最高となった。</p> <p><b>◆持ち家住宅率は65.7%で過去最低◆</b></p> <p>持ち家数は平成25年と比べ6,700戸（2.2%）減少の302,300戸となり、持ち家住宅率（住宅総数に占める割合）は65.7%（全国平均61.2%）で、平成25年から1.7ポイント減少し、過去最低となった。</p> <p><b>◆1か月当たり家賃・間代は専用住宅で0.2%減少◆</b></p> <p>借家のうち専用住宅の1か月当たり家賃・間代は、平成25年と比べ94円（0.2%）減少の38,353円（全国平均55,695円）となった。</p> <p>また、借家のうち専用住宅の1畳当たり家賃・間代は、平成25年と比べ21円（1.1%）減少の1,972円（全国平均3,074円）となった。</p> <p><b>◆高齢単身世帯のうち、借家は24.7%で過去最高◆</b></p> <p>高齢者（65歳以上の世帯員）のいる主世帯（207,300世帯）のうち、高齢単身世帯は、平成25年と比べ6,700世帯（11.4%）増加の65,500世帯となった。</p> <p>また、高齢単身世帯のうち、借家は平成25年と比べ2,100世帯（14.9%）増加の16,200世帯（高齢単身世帯に占める割合24.7%）で、平成25年から0.7ポイント増加し、過去最高となった。</p>
主管課	総合政策部 統計調査課 生活統計担当 工藤、田中 内線（2267） 直通26-7043



「統計BOX」も役に立つよ！